

1. 業務概要

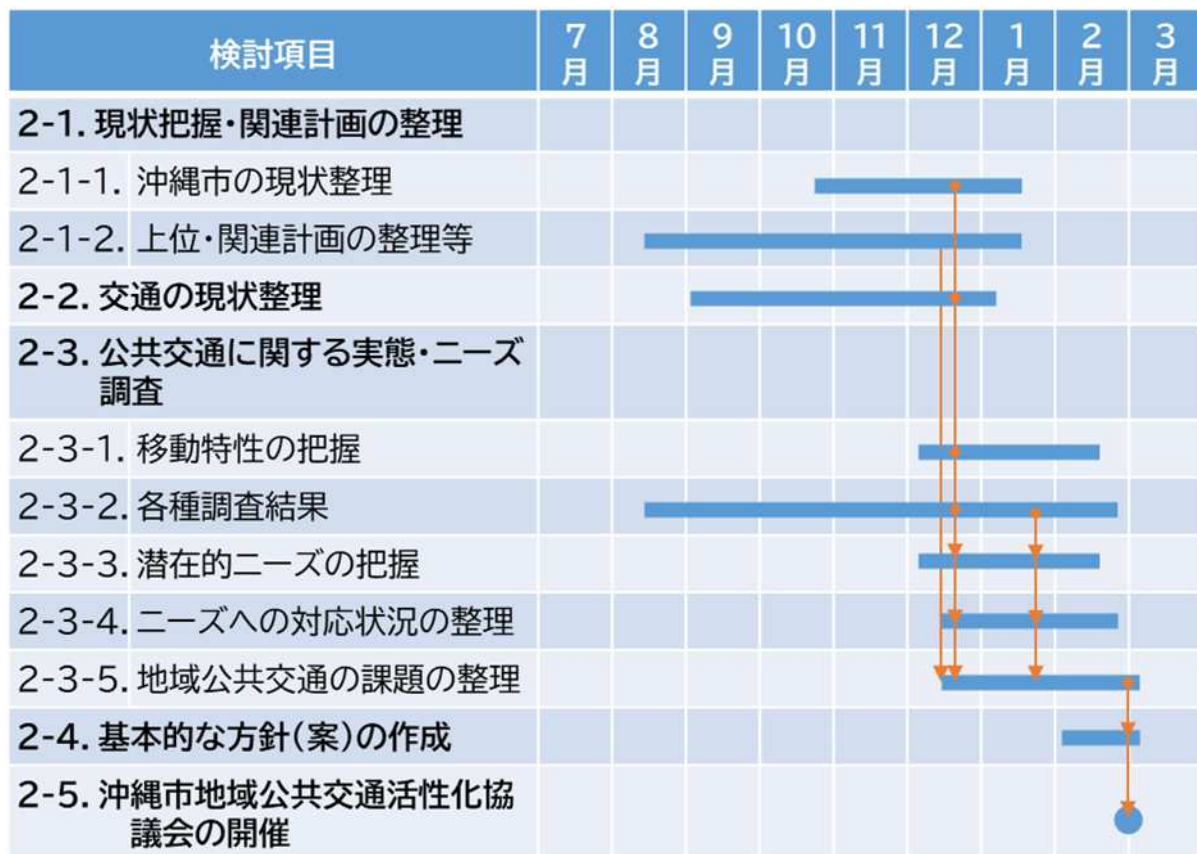
本業務は、平成30年2月に策定された「沖縄市地域公共交通網形成計画」の改定に向けた「沖縄市地域公共交通計画」の基礎調査業務である。

沖縄市の公共交通の多くは、南北へ路線バスが運行されており、特に中心市街地である国道330号コザ～胡屋間では多くの系統が運行されている。また、地域公共交通は、公共交通空白地域の縮小を目的に令和2年度より市内4系統を運行している。

沖縄市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、平成30年2月「沖縄市地域公共交通網形成計画」を策定し、「人・文化・環境を大切にする交通まちづくり」を基本理念として、地域公共交通のあるべき姿として、施策や事業について取り組んできた。

そのような状況の中、国においては、令和6年4月に「地域公共交通計画」の実質化に向けた検討会中間とりまとめにおいて、自治体、交通事業者はじめ地域の多様な関係者が連携・協働して地域交通の再構築（リ・デザイン）を進め、その利便性・生産性・持続可能性を高め、実のある地域公共交通計画へのアップデートが官民に期待される取組として取りまとめられた。

本市においても現行の計画をアップデートし、「沖縄市地域公共交通計画」を策定することを目的とする。



業務フロー

2. 検討項目

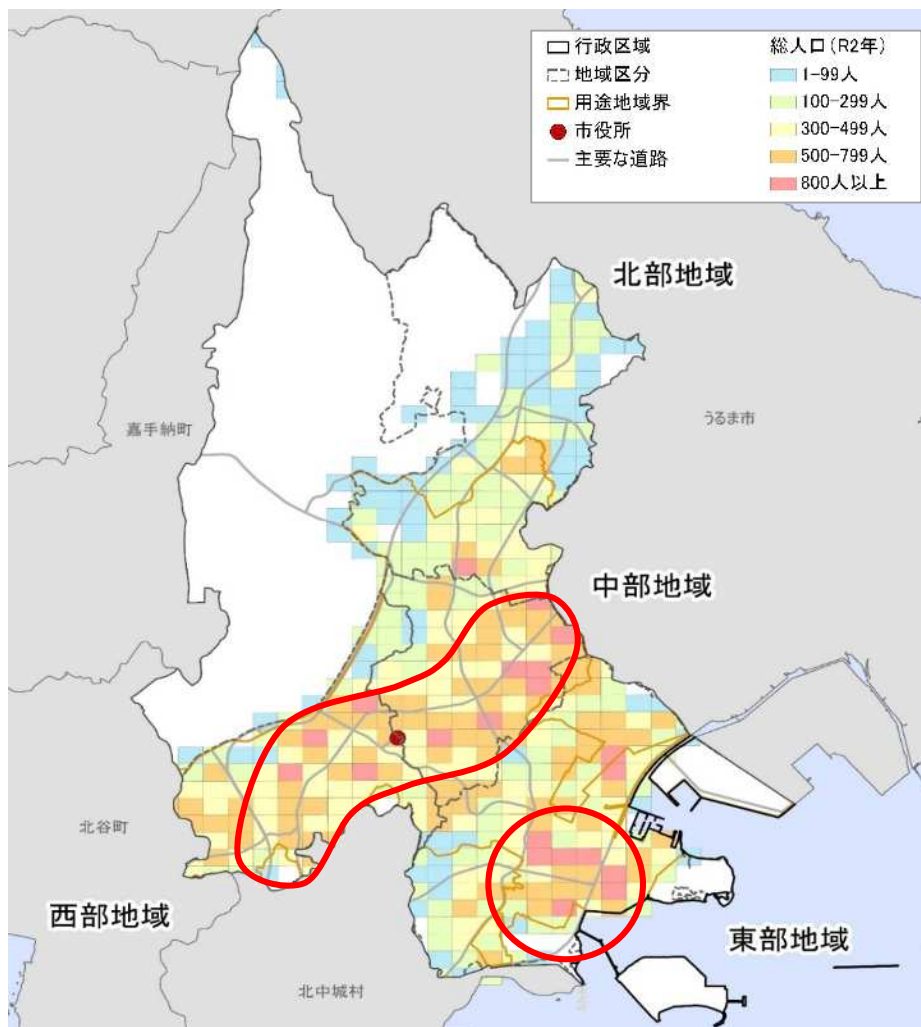
2-1 現状把握・関連計画の整理

2-1-1 沖縄市の現状把握

地域公共交通計画の策定に向けた基礎データとして活用するため、既存資料や各種統計調査、本業務で実施する各種調査等の結果などを用いて、地勢等、人口・世帯、施設立地状況、住民の移動特性などを整理し、地域の特徴を把握・整理。

地域特性の整理項目一覧

区分	項目
地勢等	地形・地勢、土地利用、都市計画、道路ネットワーク、主要渋滞箇所 など
人口・世帯の状況	人口推移、将来予測、地域別人口推移、人口分布（総人口、高齢者人口）、高齢者世帯の推移 など
施設立地状況	医療施設、商業施設、公共・公益施設、教育施設、福祉施設
住民の移動特性	通勤・通学流動、目的別の移動実態、運転免許保有状況等
その他	観光入込客数、主要観光地 等



地域特性の整理:例)人口分布(R2)

出典:国勢調査_250mメッシュ(R2)

2-1-2 上位・関連計画の整理等

(1) 上位・関連計画等の整理

上位・関連計画等や目指すべき都市の将来像などを踏まえて、公共交通に求められる役割を検討・整理した。公共交通の課題については、求められる役割への対応状況なども確認しながら検討・整理する。

公共交通に求められる役割の整理の視点

視点①:各計画の実現に向けて公共交通に期待される役割	○各計画で示されている将来像や目標等の内容に着目、公共交通に関する直接的な記述の有無に関わらず、示されている将来像等の実現を考えていく上で公共交通として支援できる・支援すべき事項を検討し、公共交通に期待される役割として整理する。
視点②:各計画で位置づけられた公共交通に関連する施策	○各計画で示されている施策体系等の中で、直接的に公共交通に言及している箇所や、住民等の「移動」が関連する箇所に着目、当該箇所に記載されている公共交通に関連する事項等を抽出・整理する。

整理した上位・関連計画は下記のとおり。

対象とする上位・関連計画

区分	計画	策定主体	策定年月
上位 計画	第5次沖縄市総合計画 基本構想 前期基本計画	沖縄市	令和3年3月
	第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略	沖縄市	令和6年3月
	沖縄県地域公共交通計画	沖縄県	令和6年5月
	沖縄市交通基本計画	沖縄市	平成28年3月
	第二期沖縄市総合交通戦略	沖縄市	令和5年11月
関連 計画	沖縄市交通拠点整備基本構想	沖縄市	令和6年6月
	中部広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」	沖縄県	令和4年11月
	沖縄市都市計画マスタープラン	沖縄市	令和2年3月改訂
	第5次沖縄市国土利用計画	沖縄市	令和2年3月
	沖縄市中心市街地活性化基本計画〈第3期〉	沖縄市	令和6年4月
	第2次沖縄市観光振興基本計画	沖縄市	令和4年3月
	沖縄市住生活基本計画	沖縄市	令和7年3月
	沖縄市地域保健福祉計画	沖縄市	令和4年3月
	高齢者保健福祉計画(第8次沖縄市高齢者がんじゅう計画)	沖縄市	令和6年3月
沖縄ブロック新広域道路ビジョン・新広域道路交通計画	沖縄市	令和3年3月	

(2) 現計画の評価・検証

① 施策実施状況の確認・評価

「沖縄市地域公共交通網形成計画（平成 30 年 2 月、以下「網形成計画」という。）」および「沖縄市地域公共交通再編実施計画（平成 31 年 2 月、以下「再編実施計画」という。）」に位置付けられている計 20 施策（網形成計画で位置付けられた 20 施策のうち 10 施策が再編実施計画で「再編事業」として位置付けられている。）についてのこれまでの実施状況を確認・整理する。

未実施施策については、未実施となった要因を把握・整理するとともに、今後の実施見通しや実施の必要性、実施に向けてクリアすべき課題などについて確認・整理する。

② 計画目標の達成状況等の整理

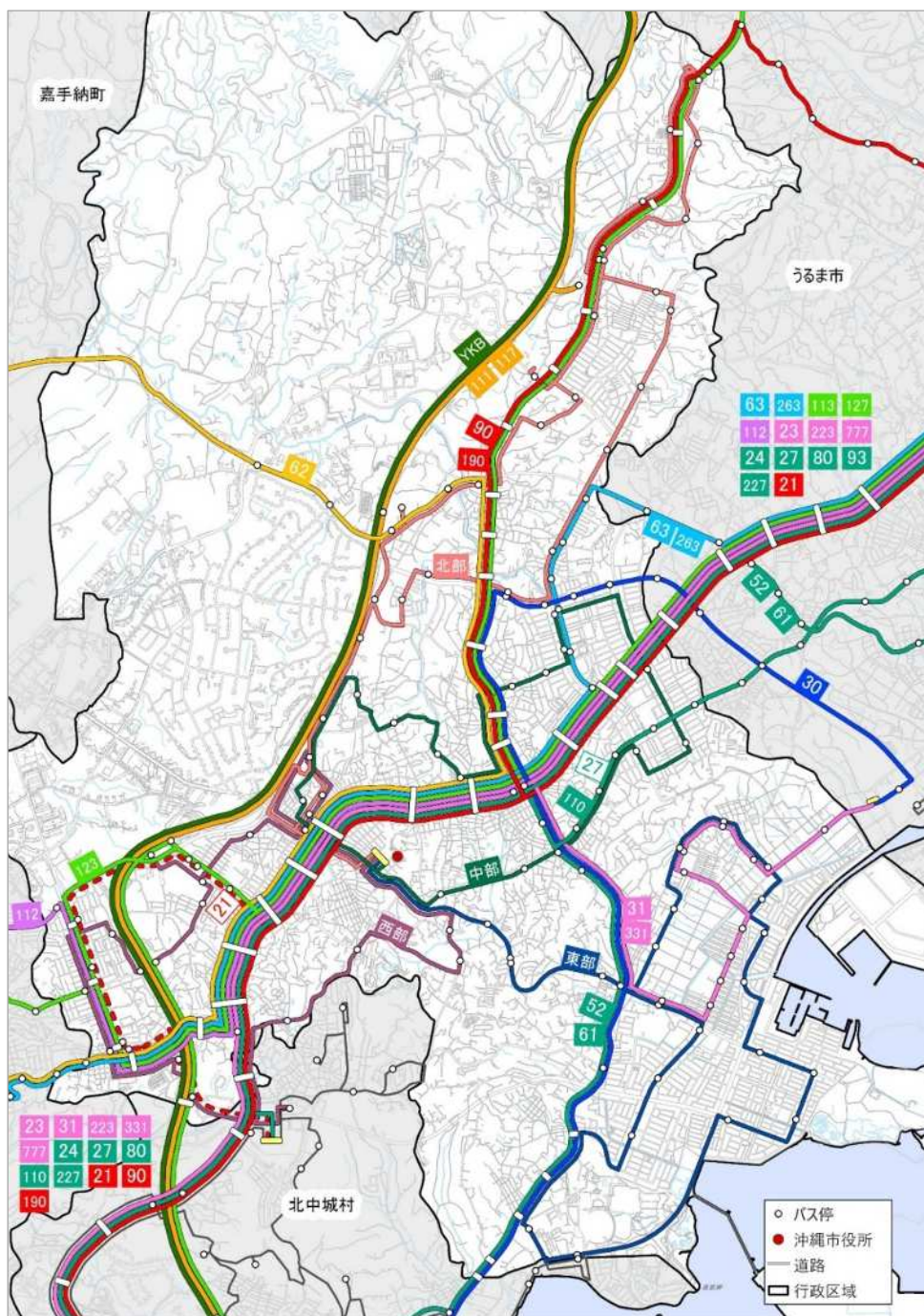
網形成計画で設定されている 8 つの評価項目について、現時点での最新データ等を用いて、評価指標の最新値などを算出し、計画目標の達成状況を確認する。加えて、再編実施計画で算定されている利用者数や収支見込みについて、見込み値と実績値の比較・検証を行う。

2-2 交通の現状整理

(1) 沖縄市の公共交通の概要

市内を運行する路線バス、沖縄市循環バス、乗用タクシーなどの地域の輸送手段について、既存資料や市および交通事業者が保有するデータ、本業務で実施する各種調査等の結果などから、運行状況や利用状況などの把握・整理を実施。

なお、沖縄県内においては、路線バスのバス停別乗降客数などの利用データを入手することが難しい状況であることから、令和5年度に調査が実施された「第4回沖縄本島中南部都市圏パーストリップ調査」の結果を用いて、沖縄市内や市内外の公共交通利用状況を把握する。



公共交通ネットワークの概況

資料：国土数値情報、基盤地図情報、沖縄市資料、那覇バス・琉球バス交通バスロケーションシステム

1) 現状整理：例) 沖縄市循環バスの概要

沖縄市内では、国道 329 号及び国道 330 号などの主要道路を中心に民間の路線バスが運行しており、路線バスが運行していない区域をカバーする形で沖縄市役所を中心に循環で運行するコミュニティバス「沖縄市循環バス」が運行している。

沖縄市循環バスの概要は下記のとおり。

コミュニティバス路線一覧

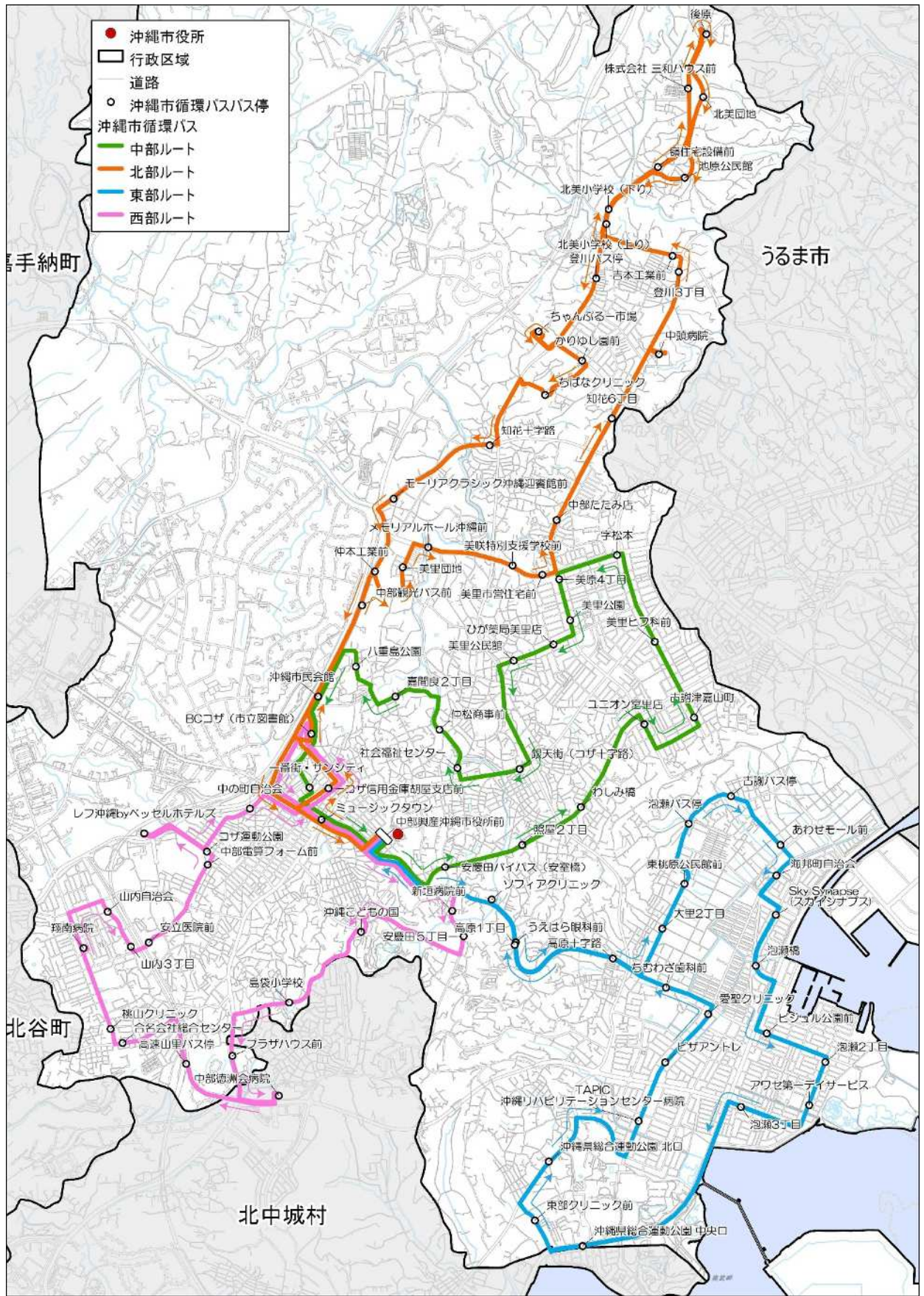
路線	始点	終点	1日あたりの運行回数	バス停数	走行距離※
西部ルート	中部興産沖縄市役所前	中部興産沖縄市役所前	9.0 回/日 〈循環〉	21	13.7 km
中部ルート	中部興産沖縄市役所前	中部興産沖縄市役所前	8.0 回/日 〈循環〉	21	11.5 km
北部ルート	中部興産沖縄市役所前 (1 便のみ後原)	中部興産沖縄市役所前 (7 便のみ後原)	7.0 回/日 〈循環〉	31	20.6 km
東部ルート	中部興産沖縄市役所前 (1 便のみ海邦町自治会)	中部興産沖縄市役所前 (11 便のみあわせモール前)	11.0 回/日 〈循環〉	26	20.9 km

※走行距離は GIS より算出

コミュニティバス概要

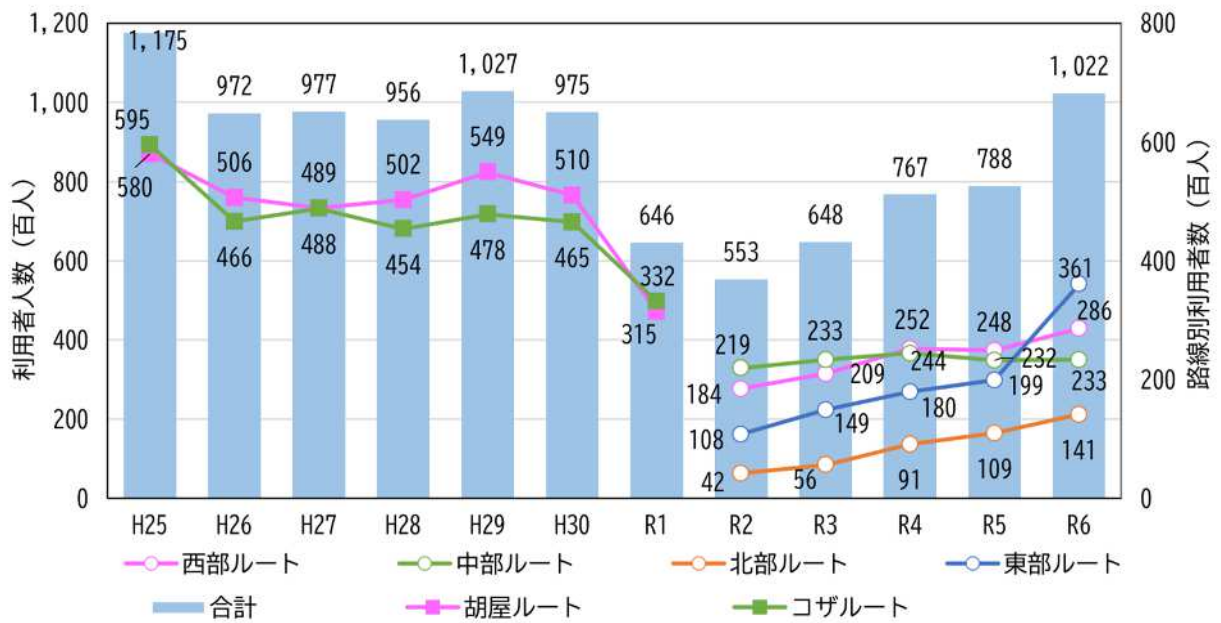
運行車両	西部ルート (ピンク色バス)	中部ルート (緑色バス)	
			
	北部ルート (オレンジ色バス)	東部ルート (青色バス)	
			
運行日等	運行日：平日 (7:15~19:10) 運休日：日祝日、1月1日~1月3日 ※土曜日の1便の運行はなし		
運行事業者	西部ルート・北部ルート	株式会社 琉球バス交通	
	中部ルート・東部ルート	沖縄交通運輸 株式会社	
運賃	現金	運転免許証を自主返納した方	50 円
		小学生~高校生、65 歳以上の高齢者、障がい者	100 円
		一般	200 円
		小学生未満	保護者同伴の場合、1 人目無料 2 人目から 100 円を徴収
	回数券	50 円券	500 円(11 枚綴り、1 枚あたり約 45.5 円)
	100 円券	1,000 円(11 枚綴り、1 枚あたり約 91 円)	
	200 円券	2,000 円(11 枚綴り、1 枚あたり約 182 円)	

資料：沖縄市資料



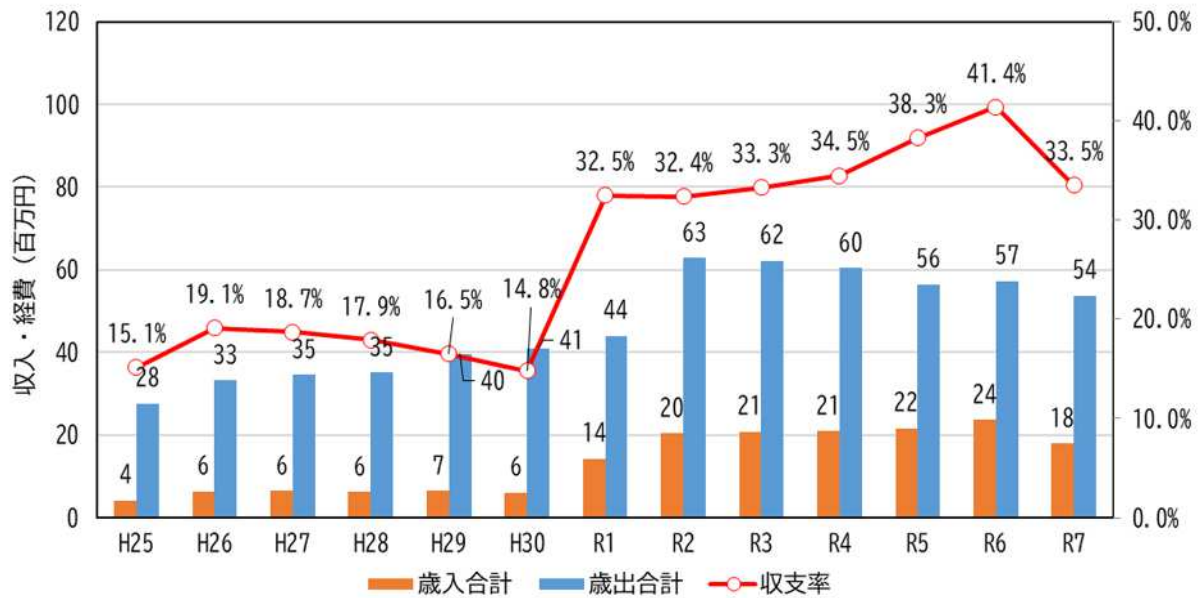
コミュニティバス路線図

資料：国土数値情報、基盤地図情報、沖縄市資料



利用者数の推移

資料：沖縄市資料



歳出・歳入と収支率の推移

資料：沖縄市資料

2-3 公共交通に関する実態・ニーズ調査

2-3-1 移動特性の把握

沖縄市全体の移動特性について、“人の動き”に合致した移動サービスが提供されているか確認するため、ビッグデータを活用し分析を実施する。

なお、ビッグデータは、GPS 位置情報に基づき、移動の詳細が把握可能な「GEOTRA（KDDI グループ）」及び「沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（R5～7）（以下、PT 調査）」を使用。

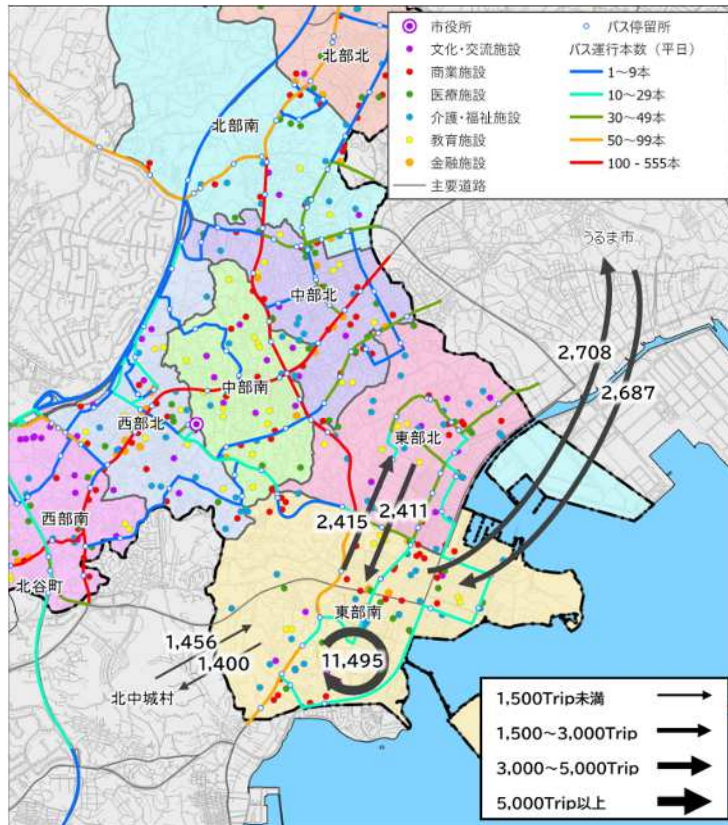
市内外の全体的な移動傾向について把握した後、PT 調査を用いた方向別・時間帯別の交通手段や移動目的を整理することにより、市内の移動特性の概要を把握する。さらに人流データを用いて、人口分布等と同様に移動量の分布を把握できる 250mメッシュを基準として時間帯別、属性別の移動状況を整理し、多様な視点で移動特性を分析する。

ビッグデータの分析概要

データ	
対象データ	<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年 10 月の平日 1 日の平均移動状況 沖縄市全域に発・着のいずれかのデータがあるトリップ
トリップ	<ul style="list-style-type: none"> 15 分以上の滞在があった場所間の移動を 1 トリップとしてカウント
データ項目	<ul style="list-style-type: none"> 移動目的： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 滞在先の位置情報、同位置にある施設情報、滞在時間情報より推定 移動時間 属性（20 歳以上） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 居住者：直近 1 ヶ月の夜間（22～29 時）の最頻滞在地 ➢ 勤務者：平日一日を選択し、8 時～20 時の間に合計 6 時間以上いる場所等 ➢ 来訪者：上記を除く対象エリアに 15 分以上滞在があった人など
地域	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの 8 地域で整理

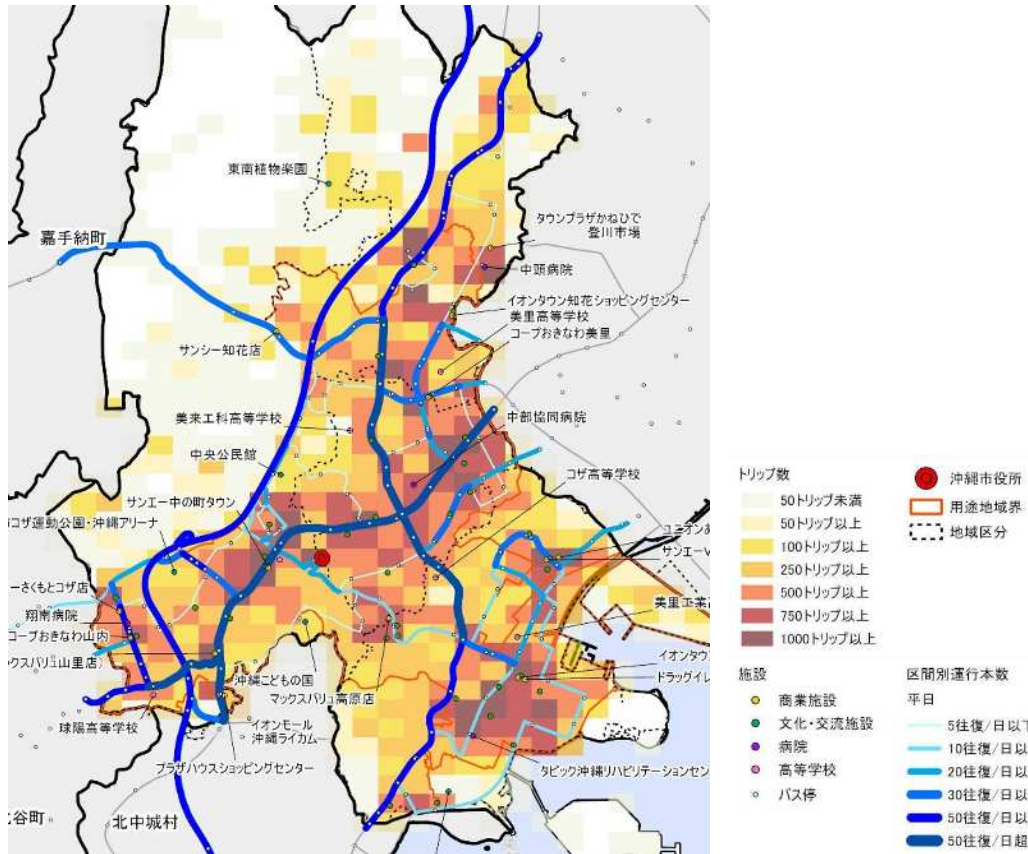
表 2-3-1 PT 調査の分析概要

データ	
対象データ	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年 9 月 2 日～令和 6 年 1 月 2 日のある 1 日（平日）の交通を対象としたアンケート調査結果
トリップ	<ul style="list-style-type: none"> ある目的を持った出発地から到着地までの移動を 1 トリップとする
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 移動目的 時間帯 移動した「交通手段」 属性（調査対象世帯の 5 歳以上の人全員が対象） など
対象区域	<ul style="list-style-type: none"> C ゾーン（全 131 ゾーン）



例) 全体的な移動傾向: 地域間の移動(東部南)

出典: 国土数値情報、人流データ



例) 移動量の分布状況(250mメッシュ)

出典: 国土数値情報

2-3-2 各種調査結果

「潜在的」な市民・利用者ニーズや今後の沖縄市の公共交通の在り方についての意向などを把握するため、アンケート調査等を実施した。実施した調査は下記のとおり。

(1) アンケート調査

① Web アンケート調査

概要	
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送による調査票の配布・回収 ・ 紙の調査票または、Web のどちらか一方で回答
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15 歳以上 89 歳未満の住民 2,800 人（無作為抽出）
調査実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/10（金）～10/24（金）
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利用の有無、利用実態、改善要望 など
回収結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 833 件（回収率 29.8%）

② QR コードアンケート調査

概要	
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ QR コードを読み取り Web で回答 ・ イベントでの調査カードの配布、施設への調査協力依頼ポスターの設置
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く意見を集めることを目的とする
調査実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター設置期間：10/16（木）頃～ ・ イベント配布日： <ul style="list-style-type: none"> 10/26（日）：沖縄アリーナでの試合日における配布 11/22（土）：国際カーニバル、実証実験での配布 ・ 回答〆切：11/30（日）
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通に対する意見や改善要望
回収結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 118 件

(2) 民生委員アンケート調査

概要	
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員の「定例会」で、調査票の配布・回収
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄市内で委嘱されている民生委員・児童委員のうち、主任児童委員を除いた 156 名
調査実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月の定例会にて配布・回収
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当地区における移動支援等の状況 ・ 公共交通による移動サービスを利用することができなくて困っている実態の有無およびその要因 など
回収結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 77 件

(3) 送迎サービス等実施事業者アンケート調査

	概要
調査手法	・ 沖縄市内で送迎サービスを実施している事業者を対象に、郵送（又はFAX）により配布・回収
調査対象	・ 民生委員アンケート結果で得られた病院、及び、デイサービス施設に加えて、WEB サイト等で送迎サービスの実施を公表している市内の事業者、または、市内で送迎サービスを行っている事業者（52 事業者）
調査実施期間	・ 11/14（金）～11/24（金）
主な調査項目	・ 送迎サービスの実施概要や利用状況 ・ 今後のサービス継続に対する意向や負担 ・ 公共交通としての活用の可能性、留意事項 など
回収結果	・ 18 件

(4) 沖縄市循環バス（北部ルート）利用実態調査

	概要
調査手法	・ 全便に調査員（2 人/便）が乗り込み、調査票に基づいて利用者に対して可能な範囲で直接聞き取りを行う
調査対象	・ 沖縄市循環バス（北部ルート）を利用する全ての利用者（運賃の対象ではない幼児を除く）
調査実施期間	・ 10/2（木） ・ 平日 1 日を対象とする
主な調査項目	・ 乗降バス停 ・ 利用目的や具体的な外出先 ・ 循環バス前後の乗り継ぎの実態 ・ 循環バスに対する改善要望 など
回収結果	・ 44 件

(5) 交通事業者ヒアリング調査

ヒアリング調査は、沖縄市内に事業所を持つタクシー事業者を対象として個別に聞き取り調査を実施した。全 11 社中協力の得られた 8 社にヒアリング調査を実施した。

調査の対象

NO	会社名	住所
1	オリオン第一交通株式会社	沖縄市美里 1 丁目 31 番 3 号
2	光陽タクシー合名会社	沖縄市高原 4-25-11
3	美越タクシー合資会社	沖縄市美里 5 丁目 21 番 10 号
4	株式会社産経タクシー	沖縄市胡屋 6 丁目 13 番 12 号
5	合名会社東宝タクシー	沖縄市八重島 3-842-1
6	藤タクシー合名会社	沖縄市山里 3 丁目 1 番 7 号
7	東和タクシー合名会社	沖縄市八重島 3 丁目 11 番 11 号
8	合名会社明豊タクシー	沖縄市知花 4 丁目 3 番 3 号

(6) 地域別ワークショップの実施【令和8年1月実施予定】

地域別（4地域×各1回を想定）でのワークショップを開催する。

	概要
実施日	・ 令和8年1月17日（土）、18日（日） 全4回
対象地域	・ 4地域（北部地域、東部地域、中部地域、西部地域）
意見交換内容	・ 各地域の公共交通の問題点・課題について、住民や利用者の感覚と齟齬がないか、そのほか留意しておくべき課題等はないか ・ 課題を踏まえて、今後どんな方向性で各地域の公共交通の検討を進めていくべきか など

2-3-3 潜在的ニーズの把握

市民アンケート調査や民生委員アンケート調査結果より、現状では移動自体が難しい・負担が大きい移動など、潜在的な移動ニーズ等を把握・分析する。

潜在的ニーズの把握イメージ

Web アンケート調査での把握事項	○現状の公共交通では対応できない移動（やむを得ず別の交通手段により移動、移動自体を断念） ○現状の公共交通で対応はできるものの、利便性が低く負担が大きい移動など
民生委員アンケート調査での把握事項	○移動サービスを利用できなくて困っている状況 ○仮に移動サービスを利用できる場合の外出先の要望 ○移動サービスを考える上での留意事項 など

2-3-4 ニーズへの対応状況の整理

「2-3. 移動特性の把握」で把握する移動特性およびパーソントリップ調査結果から整理する移動状況により、現状で顕在化している移動需要を把握するとともに、「2-4. 潜在的ニーズ」で整理する潜在的な需要も加味し、現状の公共交通の運行状況とを空間的・時間的に重ね合わせて分析することで、自家用車から公共交通への移行が期待される移動等を抽出するとともに、需要が見られるものの公共交通での対応が困難な移動等を明らかにすることで、今後の沖縄市の公共交通のあり方の検討材料として整理する。

2-3-5 地域公共交通の課題の整理

以上の検討内容を受け、沖縄市の地域公共交通に関する課題を抽出・整理する。

2-4 基本的な方針（案）の作成

地域公共交通の課題や、目指すべき地域の将来像などを踏まえるとともに、課題に対する対応の方向性なども勘案しながら、沖縄市における地域公共交通のあり方（基本的な方針：沖縄市の地域公共交通のあるべき姿）案を検討する。

2-5 沖縄市地域公共交通活性化協議会の開催

地域公共交通計画の策定に向けて「沖縄市地域公共交通活性化協議会」を開催する。

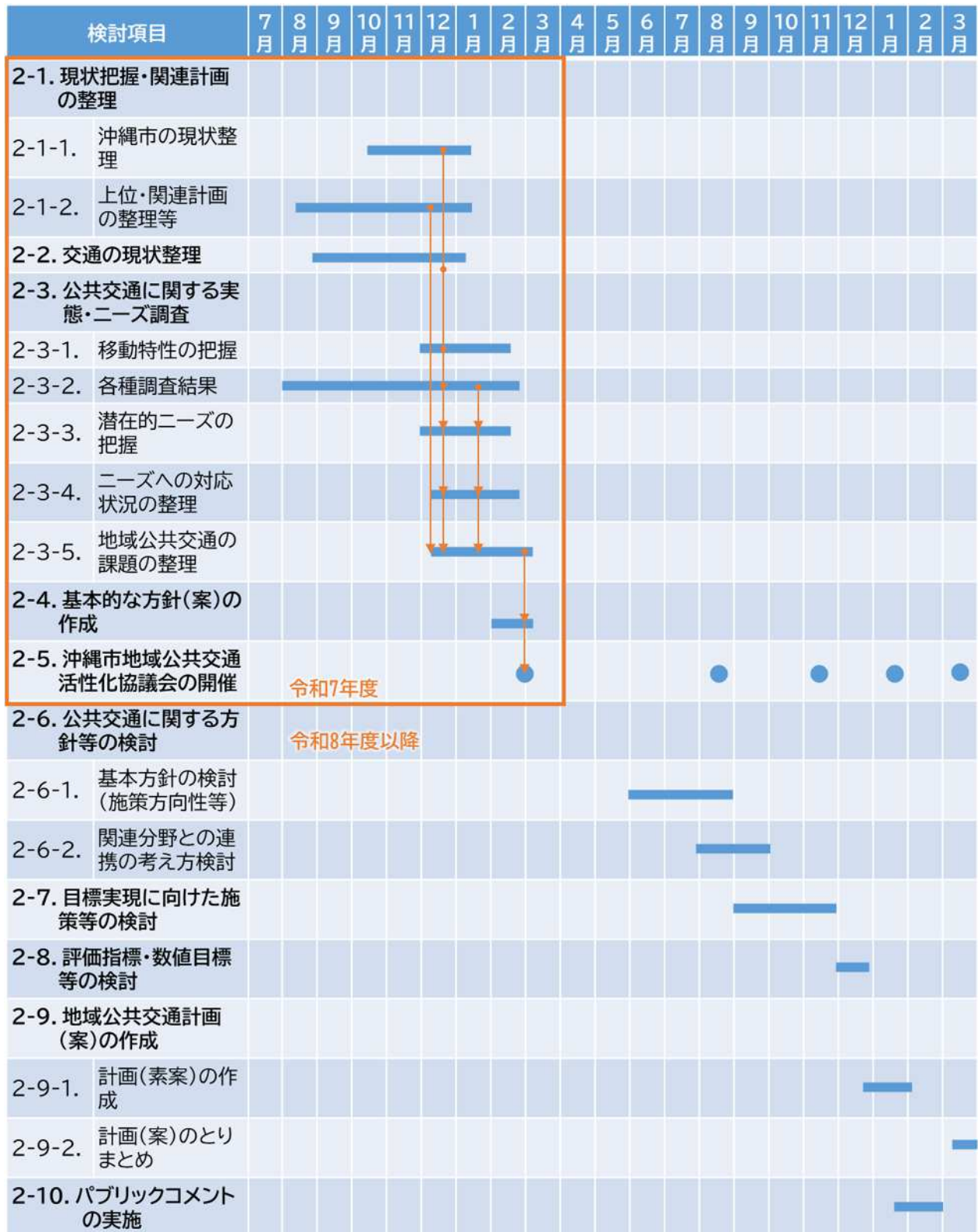
なお、計画策定に向けたポイントとなるタイミングに着目して、令和7年度には1回の開催を想定、協議会の開催時期や協議内容については以下を想定する。

沖縄市地域公共交通活性化協議会の開催時期・開催内容(案)

開催時期		協議内容
第1回	令和8年3月上旬頃	○地域公共交通の課題について ○基本的な方針（案）について ○次年度の検討の進め方について など

3. 今後のスケジュール

地域公共交通計画の策定に向けた今後のスケジュールを以下に示す。



今後のスケジュール